

## 20日 庄内たがわ農協総代会 4事業の子会社 8月設立 介護保険事業に新規着手

庄内たがわ農協(黒井徳夫組合長)の第19回通常総代会が6月20日、新余目支所2階ホール(旧梵天)で開かれます。

出資配当1・0%  
今年度は出資配当1・0%が提案されます。当期未処分剰余金4億1874万円のうち利益準備金として1億円、担い手育成支援対策積立金に3000万円、リスク管理積立金に5000万円を充当し、出資配当金に45

各農協の出資金等の比較

	JA庄内たがわ	JA鶴岡	JAあまるめ
1正組合員当たり出資金	33万2148円	27万1933円	82万1176円
正組合員1戸当たり出資金	46万6875円	43万6467円	108万9756円
正組合員1戸当たり販売額	159万2481円	255万4541円	221万5387円
正組合員1戸当たり購買額	109万3497円	183万9781円	179万3470円
自己資本比率	18.12%	16.44%	25.94%
出資配当	1.0%	0.6%	2.0%
特別配当	-	資材0.5% 米1俵30円	米1俵100円 ガソリン・軽油 ・灯油口座振替1円2円

※JAあまるめの購買額はコープ除く。(2014年度総代会・総会資料より)

### 庄内たがわ農協 合併前との比較(単位:千円)

	基準年1993年 平成5年度	2011年度 平成23年度	2012年度 平成24年度	2013年度 平成25年度	前年度との対比	基準年との対比	
正組合員数(人)	16,876	13,629	13,436	13,196	98.2%	78.2%	正組合員数(人)
職員数(人)	1,123	590	594	599	100.8%	53.3%	職員数(人)
資産	117,589,340	112,196,130	113,598,999	118,405,888	104.2%	100.7%	資産
負債	111,618,080	103,089,617	104,351,438	109,135,561	104.6%	97.8%	負債
資本(純資産)	5,971,260	9,106,512	9,247,560	9,270,327	100.2%	155.2%	資本(純資産)
当期剰余金	93,323	124,143	225,178	220,644	98.0%	236.4%	当期剰余金
貯金	96,633,096	95,589,773	97,208,661	101,424,116	104.3%	105.0%	貯金
貸出金	36,394,244	37,168,287	35,323,111	33,368,662	94.5%	91.7%	貸出金
長期共済保有高	665,528,140	565,629,930	564,596,710	554,274,644	98.2%	83.3%	長期共済保有高
購買	19,815,583	9,634,405	9,808,712	10,265,758	104.7%	51.8%	購買
販売	30,276,797	14,455,589	14,571,335	14,950,215	102.6%	49.4%	販売
(米穀)	24,149,280	11,023,590	11,477,950	11,748,017	102.4%	48.6%	(米穀)
(園特)	3,263,811	1,939,232	1,755,162	1,893,727	107.9%	58.0%	(園特)
(畜産)	2,863,706	1,492,767	1,338,222	1,308,470	97.8%	45.7%	(畜産)
自己資本比率		17.62%	18.21%	18.12%			自己資本比率

合併は1995年(平7)。職員数は合併直前との比較。臨時職員含む。

担い手育成支援対策積立金は、ハウス助成など担い手支援に3年間、年1000万円取り崩します(3期目)。リスク管理積立金は6億円を目標に、会計基準変更による損失への対応や資産償却及び有価証券の価格下落等に対応するため積立をおこなうとしています。

### 米販売は下げ傾向

2013年度の事業実績では、米穀販売が117億円で前年比2・4%の伸びとなり、園芸特産と畜産を含めた販売総額は149億円で前年比2・6%増加しましたが、合併基準年(平5)の302億円と比べ49%に落ち込んでいます。

平成25年産米の販売は前年産米と比べ1俵あたり1000円、1500円程度安い価格でスタートし、下げ傾向が続いて苦戦となっています。

向が続いて苦戦となっています。事業総利益は前年度より9997万円減の44億176万円、事業管理費は4974万円減の42億4499万円で、事業利益は1億5677万円(前年度2億700万円)、経常利益は3億3275万円(同3億7639万円)、当期剰余金は2億2064万円(同2億2517万円)となります。

### 4事業の子会社化

農機・車両・燃料・葬祭の4経済事業の子会社を8月設立し、燃料と葬祭は10月に、農機と車両は来年1月に事業開始する計画です。協同組合の事業を株式会社化することで、企業間競争を煽り、利益優先の事業展開となるのではないかと心配されます。JA庄内たがわの子

### 高齢者福祉事業へ

26年度は新規に「高齢者福祉事業基本方針」が提案され、担い手農家の介護負担の軽減を図る目的で、  
①元気高齢者への介護予防活動(運動、食事、健診・介護・医療)  
②JA事業を通じて高齢者の日常生活の支援(見守り、助け合い、職員の地域貢献)  
③介護保険事業の実施(ケアマネ、訪問介護、福祉用具レンタル)に取り組み、支援窓口として「JA高齢者支援センター(仮称)」を設置する計画です。  
地域の介護施設と連携して支援事業を展開するとしています。

# SAY NO TO RACISM CISSM(レイシズム)人種差別にノーと言おう サッカーW杯を楽しく深く観るために

「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇



しんぶん赤旗6月8日付「にちよう特番」

## 巨大労組メーデー勝手に繰上げる

工藤 博司

非正規労働者の増加をつくり出し、今また、一生涯派遣労働に縛りつけるしくみを図り、その上大企業の言いなりになって残業代ゼロをもくろむ安倍政権。その張本人をメーデー集会に来賓として招く或る巨大労組（もちろん、この挿し絵とは別の組織）。まさに信じ難い現象と言わなければならぬ。

しかもこの巨大中央労組は、メーデー即ち五月一日開催の歴史的積み上げを放棄して、ゴールデン



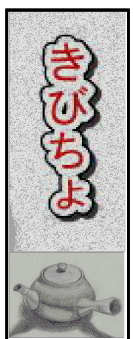
(画・加藤貞雄)

ウィーク前、四月下旬開催を続けている。メーデー発祥の意義は、歴史的時間（年月日）と切り離せない筈なのになんともいいかげんとしか言いようがない。

アベノミクスがどうごまかそうと、現実は何より雄弁である。厚生労働省の発表に曰く、基本賃金を示す「所定内給与」は、四月で25ヶ月連続マイナスになったと。

働らく者のくらしは、闘いの中でこそ切り開かれる。

ブラジルの強さの秘密は、彼のように差別とたたかい、差別の壁を早く取り払ったからである。ブラジル代表アウベスは言う。「僕たちは21世紀に生きています。：人間同士が敬意を持たなくては。僕たちはみんな同じなのだから」。先に本紙で紹介した、なでしこ佐々木監督が、宮間選手をキヤプテンに決めたときと同じ精神である。



### 自衛隊員の血を流させたのか

集団的自衛権の行使と言っても限定的なものナンダヨ、とゴク小さなことのように言ってきたのが、あり得ない状況を想定したグレイゾーンというヤツ。

▼こんな時は同盟国として黙っている訳にはイガネーロヤと4つの条件で自衛隊の行動を、与党を組んでいる党へ提起した。

▼先ずこの党をオトサナクツチャと考えた首相。しかし憲法九条に風穴を開ける重大なことで。しかも自民党がこれまで国民をダメしてきた「自衛隊を戦場には出さない」ということを覆すものなのだが、これを批判するマスコミがない。

▼この動きを捕らえた積極的平和主義者は、4つの条件を取り消し全面的に後方支援をすると言いだしたのだ。

▼いろいろなウソをついてきた首相だが、オイオイ君、こんなところでもウソを考えていたのかヨだ。そうしてまで自衛隊員の血を流させたのか。恐ろしいヤツ。

▼与党になつてはいるためか、結果的には自民党の思うところへ軟着陸してきているのが、自身は平和の党を標榜しているんだから、今回はどういふ言い訳で軟着陸するのかナ。

▼ナンテ言つてられないんだ私達は。憲法九条を守り世界平和に尽くすには首相の思うようにさせるわけにはいかないのだ。

▼政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し、と憲法前文にあるのだ。

▼どんな場所でも、戦争に参加するのは絶対反対だと、大きな声で言おうじゃないですか。ナーみなさん。

(石川)